

分類/研修科目	関連 (副題)	基本 研修 日数	ICT-A	ICT-B	内容、位置づけ	
			I M C N E T ジ ブ メ ロ ン ジ ト エ ク ト A ク ト	I M C N E T ジ ブ メ ロ ン ジ ト エ ク ト B ク ト		
基礎知識	オンライン学習 (来日前)	0			e-Governmentの基礎、情報セキュリティ基礎、Modern Technology (GIS、クラウド、AI) ソフトスキル (ロジカルシンキング、プレゼン、ファシリテーション、ネゴシエーション)	
	Enterprise Architecture (EA)	1	●	●	組織全体の業務システムを最適化のための仕組みやプロセスについて学ぶ	
	Modern Technology (クラウド、AI)	1	●	●	クラウドサービスの利用拡大やAI技術の進展は、途上国の経済発展や社会課題解決に大きな貢献が期待される。本項では日本におけるクラウド・AI技術の政策重要度が増したことを鑑み、ICTの最新トピックを紹介する。	
	ソフトスキル コミュニケーション (3日)	ロジカルシンキング	3	●	●	効果的なコミュニケーションはチーム内外の協働を促進します。情報を明確に伝える能力、相手の意見を理解し受け入れる能力、交渉する能力は、プロジェクトの進捗や問題を適時に共有し、信頼関係を築くことに繋がります。またコミュニケーションはリスク管理や問題解決にも影響し、円滑な意思疎通によりプロジェクトの失敗や遅延を回避しやすくなります。サービス利用者との接点が多い上流工程のSEになればなるほど、技術スキルに加え、コミュニケーション・マネジメントスキルは、ソリューションを提案し、実行し、運営していく上で必要なスキルである。
		プレゼンテーション		●	●	
		問題解決とファシリテーション		●	●	
		ネゴシエーション		●	●	
	戦略・企画 システム開発及び 管理 (4日)	業務要件定義・ヒヤリング	4	●	●	システムを導入するプロジェクトを進めるうえで、それを遂行するメンバーとその体制作りである。また、システム導入はベンダー任せだけで成功するほど簡単なものではなく、発注者側も業務フローの作成、要件定義や設計といったコンサルティングに参加する必要がある。本項では比較的小規模なシステム導入のプロジェクトにおける、発注側の体制づくりについて考え、業務要件定義の必要性および要件定義手法を学ぶ。またICTを導入・活用するにあたり目的と戦略を適切に設定し、その効果やリスクを測定・評価して理想とするICT活用を実現するメカニズムを確立するための手法を学ぶ。中小規模システム開発 (アジャイル開発) の原則・具体的手法、途上国における開発スタイル、アジャイル開発の実例の紹介。生成AI活用による開発効率と品質の向上、意思決定の迅速化など、生成AIを適切に活用することで、より戦略的な課題解決や創造的な設計について学ぶ
		企画提案書作成		●	●	
		システム開発 (生成AI活用)		●	●	
ハード・ テクニカル スキル プロジェクト マネジメント (4日)		プロジェクトの運営管理	4	●	●	プロジェクトを成功するには、計画、実行、監視、調整、完了の各段階で求められる能力が必要となる (チーム構築力、意思決定、リスク管理、時間管理等のスキル)。また、プロジェクトマネージャーは目標達成に向けてリソース配分とスケジュール管理が求められるだけでなく、予期せぬ問題や変更に対応する柔軟性と適応力も重要となる。これらのスキルを高めることで、プロジェクトをスムーズに進行させ、目標を達成しやすくなる。本項ではプロジェクトの計画立案に必要な基礎的考えと手法 (RFP作成、見積もりなど) と、変更マネジメントや調達マネジメントなど、プロジェクトを運営していくための基礎的な方法を学ぶ。
		RFP作成と契約管理		●	●	
ICT基盤構築 (2日)	システム基盤要件分析・企画 情報リテラシー、データ・生成AI	2	●	●	組織の情報通信技術 (ICT) を利用するための土台となるインフラ構築について学び、それを動かすために必要な要素の分析、計画～設計～構築～運用までの手法と手順を学ぶ。	
セキュリティ (1日)	サイバーセキュリティ	1	●	●	プロジェクトの計画から実行、終了まで、情報セキュリティのリスクを特定し、評価し、対策を講じることで、プロジェクトの成功と情報資産の保護をすることができる。本項ではプロジェクトマネジメントにおけるサイバーセキュリティの重要性について学ぶ。	
総合演習 (4日) アクションプラン (2日)	プロジェクトマネジメント演習A	4	●		仮想のプロジェクトチームを組み、具体例を元に、適切なICTソリューションを取り入れたプロジェクトの立案から管理までの一連の工程を学び、ぶ。総合演習の体験を元に、自国課題に置き換えたRFP (Request for Proposal) を作成する。	
	プロジェクトマネジメント演習B	4		●		
	アクションプランA	2	●			
	アクションプランB	2		●		
見学	県内視察学習	1	●	●	沖縄県内の行政におけるICT取り組み事例および官民の連携体制等を学ぶ。	
科目以外	その他	General Orientation、来日ブリーフィング、	1	●	●	※科目ではない。
		視察 (沖縄文化紹介等)、日本語研修、 コースオリエンテーション	1	●	●	※科目ではない。
		開講式、市表敬等	0.5	●	●	※科目ではない。
		閉講式、評価会	0.5	●	●	※科目ではない。
		JICA沖縄イベント (共創)	1	●	●	※科目ではない。
		JICA沖縄イベント (還流)	1	●	●	※科目ではない。
		予備日A	0	●		※科目ではない。
		予備日B	0		●	※科目ではない。
(2026年度) 全体研修日数			46	46	来日日～帰国日 ※土日祝含む	
技術研修日数 (全体)			27	28	開講～閉講 ※土日祝含まず	
技術研修日数 (関連)			23	23	※土日祝含まず	